

令和 4 年 3 月 17 日

学生の皆さんへ

新潟リハビリテーション大学学長

山村 千絵

春季休業中における新型コロナウイルス感染症に対する留意事項について

現在、新潟県のまん延防止等重点措置は解除されていますが、新型コロナウイルス感染状況は、リバウンドの傾向があり、感染者数が高止まりから増加傾向に転じつつあります。これからさらに、年度替わりや春季休業等で、県内外の人々の往来も増えるため、更なる感染の拡大に警戒が必要となります。

一方、春になり、皆さんは大学も休みに入り、開放的な気分や気の緩みも重なって、少しくらいならいいだろうと、感染対策をおろそかにした行動をとりがちになるかもしれません。そのような中、これからの時期の感染防止措置の徹底は、学生や教職員及びそのご家族、そして、地域住民の方々の健康保持や安心確保の観点からも非常に重要です。

そこで、学生の皆さんにおかれましては、本学学生としての責任を自覚し、節度ある行動をとっていただきたく、春季休業期間中の注意事項として引き続き、次のことを徹底してください。

記

<日常生活について>

(1) 「5 つの場面」

1. 飲酒を伴う懇親会など
2. 大人数や長時間におよぶ飲食
3. マスクなしでの会話
4. 狭い空間での共同生活
5. 居場所の切り替わり

は感染リスクが高まりますので留意してください。特に、5 人以上の会食及び歌唱を伴う飲食等（飲み会、カラオケ等）は自粛してください。飲食等の会合を持つ場合も、少人数・短時間を心がけ、普段の食事においても「同席者同士の間隔を空ける」「できるだけ正面や隣席の利用は避け、はす向かいに座る」等の感染対策を行ってください。

- (2) 人が周りにいる空間では、マスク着用を心がけましょう。マスクを着用していても、密閉空間での長時間の会話は感染リスクが高まるので気をつけてください。また、室内や車の中にいる場合は、密閉空間とならないよう窓を少し開ける又は定期的な換気を行ってください。
- (3) 食事前やトイレ後、外出から帰ったとき等は、こまめな手洗いや手指消毒を行ってください。
- (4) 発熱等、体調不良があるときは外出を控え、回復後も数日間様子を見てください。
- (5) 春季休業明けの対面授業の出席に備えて、できる限り不特定多数の人との接触を避けるとともに、検温や行動記録の作成等により健康管理を徹底してください。
- (6) アルバイトについては、三密（密閉・密集・密着）を回避できない、また、マスクを着用しない場面がある、その他、感染リスクが高いと考えられる場合は自粛してください。

<SNS 等による情報拡散について>

感染は誰にでも起こりうる可能性があります。SNS 等の発信で感染者を誹謗中傷する行為やいたずらに情報を拡散する行為は、絶対にしないでください。

※新型コロナウイルス感染症に関連して、人権について配慮すべきこと

- ・新型コロナウイルスは誰がかかってもおかしくない病気です。
- ・誰もが気づかぬうちに感染させてしまう可能性がある病気です。
- ・罹患者、濃厚接触者や PCR 検査受検者の方は、とても不安な気持ちで日々を過ごし、精神的なプレッシャーを感じています。
- ・誰もが安心して治療を受け、社会に戻ることができるよう、人権に配慮した行動に努めてください。

(参考：新型コロナウイルス感染症に関する差別・偏見の防止に向けて（文部科学省）)

学生の皆さんが、正しい行動をとることは、自身や家族の安全と健康を守り、そして社会、未来を守ります。引き続き、ご協力をお願いいたします。